

授業科目名 (英語表記)	災害後の生活再建とまちの復興 (Post-disaster livelihood reconstruction and community recovery)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	平田 隆行、宮定 章、佐久間 康富		
開講	岸和田サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回：2022年1月8日(土) 13:00～17:00	第4回：2022年1月29日(土) 13:00～17:00	
	第2回：2022年1月16日(日) 13:00～17:00	第5回：2022年2月5日(土) 13:00～17:00	
	第3回：2022年1月22日(土) 13:00～17:00	第6回：2022年2月12日(土) 13:00～17:00	

**【授業の概要・ねらい】**

2018年の台風21号災害では、関西空港はじめ、大阪湾に大きな被害が出ました。2016年の熊本地震、2020年の熊本県球磨川の水害もありました。近く襲来が予想されている南海トラフ地震も心配です。災害後に私たちの暮らしをどのように再建し、まちをどのように復興させていけばよいのか、そのことを考えていきたいと思えます。

今回は1回目に全体を通底する「災害復興」への向き合い方を考え、岸和田市を中心とした地域の災害について話し合います。2018年台風21号災害の状況を受講生全員での当時の情報の共有をはかります。

2回目から5回目は、それぞれ阪神淡路大震災、中越地震、東日本大震災、熊本地震(洪水ふくむ)などの災害と地域を取り上げ、その復興の中心を担った専門家をゲストスピーカーに迎えて、具体的な復興の歩みを学びます。第5回目は、事前復興について考えます。和歌山県内で作られつつある事前復興計画を学び、岸和田城周辺の中心市街地を中心に、南海トラフ地震後にどのような街を復興させていくべきかを考えます。

なお、2回目は、阪神・淡路大震災のアニバーサリーに合わせ、神戸市の復興現場を歩きながら学びます。

**【授業計画】**

第1回 イン트로ダクション「災害とまちづくり」(平田隆行)

「災害とまちづくり」講義と地域の災害履歴(台風21号災害含む)、ワークショップを予定しています。

第2回 阪神・淡路大震災からの復興(平田隆行・宮定 章)

神戸市の阪神淡路大震災からの復興現場を歩きながら考えます。

ゲストスピーカー：浅見雅之(NPO法人神戸まちづくり研究所 理事・事務局長)

第3回 中越地震からの復興(佐久間康富)

中越地震の復興にかかわった澤田先生から、中山間地域の復興と地域づくりを学びます。

ゲストスピーカー：澤田雅浩(兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科准教授)

第4回 東日本大震災からの復興(宮定 章)

東日本大震災から10年が経ち、復興の全容がみえてきたところです。現地・石巻で復興に携わった経験をお伝えします。

(オンライン) ゲストスピーカー：姥浦道生(東北大学大学院工学研究科教授)

第5回 南海トラフ地震への備えと事前復興(平田隆行、宮定 章、佐久間康富)

和歌山県で先行している「復興計画の事前策定」を考えます。岸和田周辺の地域はどのような事前復興を考えれば良いか、議論します。

第6回 熊本地震からの復興と令和2年7月豪雨(宮定 章)

発災から5年となった熊本地震の復興の状況と、昨年度の豪雨水害の被害状況、そしてコロナ禍での復興支援について、熊本県立大学の柴田先生から話を聞きます。

(オンライン) ゲストスピーカー：柴田 祐(熊本県立大学 環境共生学部教授)

**【到達目標】**

その地域に暮らす市民として、災害後の暮らしをどのように再建し、街を復興させていけば良いのかを考えることができる。

**【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】**

成績は、ディスカッション・ワークショップの参加、レポートの評価で行います。参加4とレポート6の割合といたします。

**【教科書】**

特に定めません。基本的には適宜、講義ごとに資料を配布します。

**【参考書・参考文献】**

復興庁・住宅再建・復興まちづくり <https://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-15/index.html>

大槌町震災アーカイブ <https://archive.town.otsuchi.iwate.jp>

牧紀男：『災害の住宅誌 人々の移動とすまい』鹿島出版会，2011.6

牧紀男：『復興の防災計画 巨大災害に向けて』鹿島出版会，2013.6

**【履修上の注意・メッセージ】**

第2回目(1月16日)の授業は神戸市で復興まちづくりの現場を歩きながら復興を考えていきたいと思えます。現地集合・現地解散を予定しております。

**【授業時間外学修についての指示】**

学部学生の方は、本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。授業時間の約2倍の時間外学習が必要です。